

副産物情勢

平成30年7月4日

更新

JA全農ミートフーズ株式会社

項目	内容	備考																									
1.内臓	①国産牛	<p>○平成30年5月成牛と畜頭数は、82.6千頭(前年比103.0%)と前年をわずかに上回った。 内訳を見ると、和牛34.3千頭(前年比 104.4%)、交雑牛20.2千頭(同 106.8%)、乳牛去勢14.8千頭(同 93.0%)であった。 ○平成30年6月の成牛と畜頭数は、速報値(6/29まで集計)で80.9千頭(前年比98.6%)と微減となった。 ○(独)農畜産業振興機構が6月22日に公表した牛肉の需給予測によると、7月は生産量の約3割を占める交雑種の出荷頭数の減少が見込まれることから、生産量は前年同月をわずかに下回ると予測する。 3ヶ月平均(5~7月)では、出荷頭数は前年同期並み、生産量前年同期をわずかに下回ると予測する。 ○需要動向については、赤モノは依然不足気味である。焼肉需要到来により、焼材の動き良いが、レバーの動きは弱めである。 シロモノは小腸・シマチョウとも動きが非常に悪く、市中在庫が多くなっている状況である。 テールの引き合いも動く出てきた。</p>	<p>1.東京市場内臓価格 単位:円/枝肉kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛内臓</th> <th>豚内臓</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成23年5月26日</td> <td>34/枝kg</td> <td>8/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成24年7月6日</td> <td>30/枝kg</td> <td>8/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成24年11月19日</td> <td>30/枝kg</td> <td>7/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成26年6月9日</td> <td>30/枝kg</td> <td>9/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成26年11月10日</td> <td>35/枝kg</td> <td>9/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成28年6月6日</td> <td>40/枝kg</td> <td>9/枝kg</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align:right">*豚正貫物</p>	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	平成23年5月26日	34/枝kg	8/枝kg	平成24年7月6日	30/枝kg	8/枝kg	平成24年11月19日	30/枝kg	7/枝kg	平成26年6月9日	30/枝kg	9/枝kg	平成26年11月10日	35/枝kg	9/枝kg	平成28年6月6日	40/枝kg	9/枝kg			
	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																								
	平成23年5月26日	34/枝kg	8/枝kg																								
平成24年7月6日	30/枝kg	8/枝kg																									
平成24年11月19日	30/枝kg	7/枝kg																									
平成26年6月9日	30/枝kg	9/枝kg																									
平成26年11月10日	35/枝kg	9/枝kg																									
平成28年6月6日	40/枝kg	9/枝kg																									
②国産豚	<p>○平成30年5月度全国の肉豚出荷頭数は1,381千頭(農林水産統計6/29公表 前年比101.5%)となった。農水省6月1日発表の月出荷予測では、1,357千頭(前年比100%)と予測されており、予測と前年をともに上回る結果となった。 ○平成30年6月の全国と畜頭数は、速報値で1275.9千頭(6/29まで集計)、前年同比97.2%となっている。稼働日数では昨年より1日少ない21日となり、1日当たりの平均と畜頭数は速報値段階で60,757頭となっている。 ○農水省食肉鶏卵課平成30年6月1日付 肉豚生産出荷予測によると、今後の出荷予測頭数は平成30年7月1,260千頭(前年比102%)、8月1,316千頭(100%)、9月1,285千頭(98%)、10月1,443千頭(101%)、11月1,484千頭(101%)となっている。 ○需要動向について、引き続きアカモノは全体で堅調である。タン・ハラミは相変わらず好調である。レバーも加工仕向け等で堅調で不足ぎみである。 シロモノは、夏場であるが小腸・大腸とも順調である。 ハツ・ガツともコンビニ・量販店需要・輸出量拡大等で堅調である。</p>	<p>2.大阪市場内臓価格 単位:円/枝肉kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛内臓</th> <th>豚内臓</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成20年3月10日</td> <td>50/枝kg</td> <td>3/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成20年5月1日</td> <td>50/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成23年6月20日</td> <td>40/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成24年7月13日</td> <td>30/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成26年11月10日</td> <td>35/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成28年5月30日</td> <td>40/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> </tbody> </table> <p>*H23.4.1から枝重500kg以上が510kg未満に改定</p>	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	平成20年3月10日	50/枝kg	3/枝kg	平成20年5月1日	50/枝kg	5/枝kg	平成23年6月20日	40/枝kg	5/枝kg	平成24年7月13日	30/枝kg	5/枝kg	平成26年11月10日	35/枝kg	5/枝kg	平成28年5月30日	40/枝kg	5/枝kg				
価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																									
平成20年3月10日	50/枝kg	3/枝kg																									
平成20年5月1日	50/枝kg	5/枝kg																									
平成23年6月20日	40/枝kg	5/枝kg																									
平成24年7月13日	30/枝kg	5/枝kg																									
平成26年11月10日	35/枝kg	5/枝kg																									
平成28年5月30日	40/枝kg	5/枝kg																									
③輸入牛	<p>○平成30年5月の輸入通関実績によると牛肉輸入量は全体で54.1千ト(前年比95.9%、前月比87.1%)であった。 内訳は、チルドが24.9千ト(前年比110.2%、前月比99.1%)、フローズンは29.2千ト(同86.4%、同 79.0%)であった。 チルドは不要期の中で4月並の数量が入り、米国が12.0千ト(前年比107.6%)、豪州が11.5千ト(同 108.7%)となった。 ○(独)農畜産業振興機構が6月22日に公表した牛肉の需給予測によると、今後のチルドビーフ輸入量について、6月はと畜頭数の増加により主に豪州産の輸入量の増加が見込まれることから、前年同月をわずかに上回ると予測している。 ○平成30年5月の冷凍輸入牛レバーは42.6千ト(前年比62.7%・前月比58.1%)であった。国別では米国28.0t、豪州7.7t、墨国7.0tであった。 冷凍輸入牛腸は1,395.0千ト(前年比107.9%・前月比95.4%)となった。</p>	<p>3.東京市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛原皮(和牛)</th> <th>豚原皮</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成25年2月1日</td> <td>1,000/枚</td> <td>140/枚</td> </tr> <tr> <td>平成25年6月3日</td> <td>1,000/枚</td> <td>160/枚</td> </tr> <tr> <td>平成26年1月6日</td> <td>2,000/枚</td> <td>200/枚</td> </tr> <tr> <td>平成27年4月1日</td> <td>2,000/枚</td> <td>170/枚</td> </tr> <tr> <td>平成28年4月1日</td> <td>2,000/枚</td> <td>150/枚</td> </tr> <tr> <td>平成29年1月23日/16日</td> <td>1,500/枚</td> <td>180/枚</td> </tr> <tr> <td>平成30年5月14日</td> <td>1,500/枚</td> <td>150/枚</td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮	平成25年2月1日	1,000/枚	140/枚	平成25年6月3日	1,000/枚	160/枚	平成26年1月6日	2,000/枚	200/枚	平成27年4月1日	2,000/枚	170/枚	平成28年4月1日	2,000/枚	150/枚	平成29年1月23日/16日	1,500/枚	180/枚	平成30年5月14日	1,500/枚	150/枚	
価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮																									
平成25年2月1日	1,000/枚	140/枚																									
平成25年6月3日	1,000/枚	160/枚																									
平成26年1月6日	2,000/枚	200/枚																									
平成27年4月1日	2,000/枚	170/枚																									
平成28年4月1日	2,000/枚	150/枚																									
平成29年1月23日/16日	1,500/枚	180/枚																									
平成30年5月14日	1,500/枚	150/枚																									
2.原皮	①牛原皮	<p>○平成30年5月の輸出実績は、33,694枚(前年比110.6%、前月比101.3%)で、前月・前年ともに上回った。輸出平均価格は4,196円/枚(前年比-1,223円、前月比-21円)とこちらは下回った。 国別実績は、韓国14,930枚(前年比146.4%)、タイ9,770枚(同68.2%)、香港6,074枚(同171.1%)、インド12,00枚(前年なし)、ベトナム1,720枚(同71.7%)、台湾は実績なし。一方、ウエットブルーの輸入は、39.3千枚(前年比95.2%、前月比76.1%)、牛大判皮は24.5千枚(前年比140.4%、前月比150.5%)となった。 ○米国等の牛生産頭数が増加し、それに合わせ原皮枚数も増加している。牛原皮の国際価格を押し下げているのが、下げの主な原因のひとつと思われる。</p>	<p>4.大阪市場原皮価格 単位:円/枚</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛原皮(和ヌキ)</th> <th>豚原皮</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成23年7月11日</td> <td>1,300円/枚</td> <td>70/枚</td> </tr> <tr> <td>平成25年2月8日</td> <td>1,300円/枚</td> <td>100/枚</td> </tr> <tr> <td>平成25年6月10日</td> <td>1,300円/枚</td> <td>120/枚</td> </tr> <tr> <td>平成26年1月6日</td> <td>2,300円/枚</td> <td>160/枚</td> </tr> <tr> <td>平成27年4月13日</td> <td>2,300円/枚</td> <td>130/枚</td> </tr> <tr> <td>平成29年1月23日/16日</td> <td>1,800/枚</td> <td>140/枚</td> </tr> <tr> <td>平成30年5月28日</td> <td>1,800/枚</td> <td>110/枚</td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮	平成23年7月11日	1,300円/枚	70/枚	平成25年2月8日	1,300円/枚	100/枚	平成25年6月10日	1,300円/枚	120/枚	平成26年1月6日	2,300円/枚	160/枚	平成27年4月13日	2,300円/枚	130/枚	平成29年1月23日/16日	1,800/枚	140/枚	平成30年5月28日	1,800/枚	110/枚
	価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)		豚原皮																							
平成23年7月11日	1,300円/枚	70/枚																									
平成25年2月8日	1,300円/枚	100/枚																									
平成25年6月10日	1,300円/枚	120/枚																									
平成26年1月6日	2,300円/枚	160/枚																									
平成27年4月13日	2,300円/枚	130/枚																									
平成29年1月23日/16日	1,800/枚	140/枚																									
平成30年5月28日	1,800/枚	110/枚																									
②豚原皮	<p>○平成30年5月の輸出合計は、1,005,064枚(前年比95.2%、前月比82.3%)と、前月・前年ともに下回った。 輸出価格は575円/枚で前年比-263円、前月比-36円とこちらも下回った。 国別実績は、台湾304千枚(前年比160.1%)、タイ624千枚(同78.4%)、韓国36千枚(同141.8%)、ベトナム41千枚(前年比97.2%)、フィリピン・香港とも実績なしであった。 ○輸出動向については、輸出価格の下げが止まらない状況である。 国際的には、牛皮・羊皮価格とも下落傾向であり、海外には在庫も多く予断を許さない。</p>																										
3.レンジ	①油脂等	<p>○6月渡しの国内産食用加工油脂向け豚脂は前月保合、前年からは+7円上げの95円(前年比108.0%)となり、牛脂は前月保合、前年からは-3円下げの90円(同96.8%)となった。豚脂は6月にもう一段の値上げはなかったが需給はタイトな状況である。牛脂は、ファーストフード大手の業績改善と新規店舗開店が見込まれることなどの好材料も出てきている。 ○5月マレーシア産パーム油相場は、4月は生産量が予測より少なかったため、前月より+2円の93円であった。(前月比102.2%、前年比94.9%)。また、5月に中東情勢懸念による原油相場の高騰が値上げを後押しした。 ○6月の関東飼料用油脂は74円/kgと前月と同様で、前年比+2円となった。工業用油脂は前月と同様の45円/kg、前年からは-2円。 ○6月のUCオイル(ローリー)飼料用の関東標準価格は、前月・前年と同様の63円~66円/kg辺り。</p>	<p>5.油脂価格(食用向け) 単位:円/kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛脂</th> <th>豚脂</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成27年7月1日</td> <td>91</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>平成27年8月1日</td> <td>93</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>平成28年6月1日</td> <td>93</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td>平成29年11月1日</td> <td>90</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>平成30年4月1日</td> <td>90</td> <td>95</td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛脂	豚脂	平成27年7月1日	91	93	平成27年8月1日	93	93	平成28年6月1日	93	88	平成29年11月1日	90	90	平成30年4月1日	90	95						
価格改定年月日	牛脂	豚脂																									
平成27年7月1日	91	93																									
平成27年8月1日	93	93																									
平成28年6月1日	93	88																									
平成29年11月1日	90	90																									
平成30年4月1日	90	95																									